

# 第1回 第10期かかみがはら高齢者総合プラン策定委員会 議事要旨

## 1. 開催概要

開催日時	令和7年11月28日(金) 13:30-14:40
会場	産業文化センター8階第2会議室
出席者	別紙名簿参照
議題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 市長あいさつ</li><li>3. 委員長及び副委員長の選出</li><li>4. 第10期かかみがはら高齢者総合プランの諮問</li><li>5. 委員長、副委員長あいさつ</li><li>6. 審議事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 第9期かかみがはら高齢者総合プランの進捗状況報告</li><li>(2) 第10期かかみがはら高齢者総合プランの策定に向けて</li><li>(3) 高齢者福祉・介護保険サービスアンケート調査について</li><li>(4) 第10期各務原市介護保険事業計画に関する整備意向調査の実施について</li></ol></li><li>7. その他</li><li>8. 閉会</li></ol>
配布資料	<ol style="list-style-type: none"><li>① 第9期かかみがはら高齢者総合プラン【概要版】</li><li>② 【資料1】第10期かかみがはら高齢者総合プランの策定に向けて</li><li>③ 【資料2】高齢者福祉・介護保険サービスアンケート調査について</li><li>④ 【資料3】第10期各務原市介護保険事業計画期間(令和9~11年度)における介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅整備意向調査について</li></ol>

## 審議事項

### (1) 第9期かがみがはら高齢者総合プランの進捗状況報告

- 事務局 【説明】(第9期各務原市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画【概要版】にて説明)
- 委員長 数値目標の進捗状況については、今後の委員会にて共有されるのか。
- 事務局 その予定である。
- 委員長 ここ1・2年での数値目標の大きな乖離などはないか。
- 事務局 現状では大きな乖離はないが、介護予防の重要性が高まっており、総合事業に係る費用が上がっている状況である。

### (2) 第10期かがみがはら高齢者総合プランの策定に向けて

- 事務局 【説明】(資料1にて説明)
- 委員長 3年ごとに介護報酬の改定がある中で、今期は来年度に実施するという話があるが、その場合は保険料が変更されるのか。
- 事務局 国からは具体的な内容が共有されていないので、現段階で答えることができない。
- 委員長 介護保険事業計画は調査方法や策定方針がある程度決まっているが、老人福祉計画は皆さんの意見を反映して策定していく必要がある。来年の8・9月には素案が完成する予定である。事業を実施するにあたり、誰が事業を実施していくのかが課題となってくると思う。これまで担ってきた人に引き続きお願いするというのも大きな負担となってくると思う。以前、社会福祉協議会の方で新規事業を30程度設定したが、負担が大きくなり結果として未実施となった事業もあった。そのようなことも踏まえて事業の検討をしていく必要がある。
- 委員 A 民生委員を担っていた時に、元気だと思われる人が必要以上に介護給付を受けているのではないかという話を聞いた。認定の判断については見えない部分もあると思うが、給付が増えるとその分費用も高くなってしまうので、自分たちでできる部分は支え合うなど、必要な人に必要な給付が行き届くようにしていく必要がある。
- 事務局 介護認定にあたっては、医院の先生の判断のもと、認定調査員が調査したうえで、介護認定審査会にて審査、という流れになっている。
- 副委員長 適正に判断するようにしている。ただ、医師と調査員との差が出ている部分もあるかもしれない。
- 委員長 要介護度の変更も調査のタイミングによって変わってくる場合がある。適切な介護保険制度の利用をお願いしたい。
- 委員 B 職員不足により閉鎖している事業所が多くなっている。計画を策定していく中で、サービス提供量の確保が課題となっていくと思う。
- 委員長 各務原市は特に地域密着型サービスを進めてきた。施設の整備は今後の議論となると思う。ある事業所では人材の不足や職員の質の低下などにより、定員を半分にするという話を聞いた。
- 第8期計画からテーマとなっている人材の確保はどのような状況か。当時は外国人職員の

確保という話もあった。

委員 C 人材が流出すると、知識や技術が定着していない人が教えていけない状況となっている。

委員長 人材の確保にもっと力を入れていく必要がある。社会福祉協議会が実施している地域ケアグループはどのような状況か。

委員 D 人材数は減少傾向となっている状況であり、結果として見守りの活動量は少なくなっている。

第10期計画において、フレイル予防や地域包括ケアなどがキーワードとなる中、社会福祉協議会の会費のみでは十分な活動ができなくなってきているので、皆さんから支援してもらえるとありがたい。

委員長 策定に向けては、若干の変更が発生するかもしれないが、概ね資料のスケジュール通りで進めていくことになると思う。

### (3) 高齢者福祉・介護保険サービスアンケート調査について

事務局 【説明】(資料2にて説明)

委員長 P6のヤングケアラーについて、学校側が地域包括支援センターなどに連絡せずに学校内で対応しようとするところがあるので、学校機関にヒアリングをしてもよいかと思う。

委員 E 学校の先生から市の職員に連絡してもらった事例がある。ただ、ヤングケアラーはそれに該当するかどうかの線引きが非常に難しい。

要介護認定調査の前回の回収率が57.0%となっている。介護支援専門員(ケアマネジャー)さんから周知し、回収率の向上につなげられたらと思う。

事務局 大変ありがたいご意見である。ただ、介護支援専門員(ケアマネジャー)さんのご負担が大きくなると思うので、安易にはお願いはできない。

委員長 アンケートについては経年比較の観点から大きく変更はできないが、ご意見等があれば事務局にご連絡をいただきたいと思う。年明けからは実施できればと思う。

### (4) 第10期各務原市介護保険事業計画に関する整備意向調査の実施について

事務局 【説明】(資料3にて説明)

意見なし。

## 7 その他

なし。

## 8 閉会